



保安品質方針

我々は、決して東電福島第一事故を忘れない。

安全には終わりのないことを肝に銘じ、保安品質に関する活動方針を定める。

方針1 我々は、安全第一を行動のよりどころとする。

方針2 我々は、「人の安全」、「製品の安全」、「工場の安全」を担保するため、保安品質を不断の努力により向上させる。

方針3 我々は、法令を満足するだけでなく、社会に受け入れられ、感謝されることを常に目指す。

重点項目

重点1 「安全第一」の意識の再徹底

安全第一の行動になっているか、一度立ち止まって、自らに問いかける姿勢を徹底すること。

重点2 新規制基準に基づく安全対策の理解と訓練

新規制基準の要求とそれに対応する当社の安全対策について、社員の職務に応じた体系的な教育と訓練を実施すること。

重点3 劣化の予兆を見逃さない先手々々の活動

設計の考え方を盛り込み、また、経年変化を前提とした保守管理の仕組みを構築すること。

2018年11月27日
原子燃料工業株式会社

社長 **北川 健一**